

わたしたちにとって誕生日とは何か

川 浦 康 至

はじめに

誕生日には2つの意味がある。すなわち、「その人が生まれた日」と、その生まれた日と「同じ日付で、満一歳以降毎年めぐって来る日」(新明解辞典 第5版)の2つである。通常、誕生日と言うとき、わたしたちは「年」のつかない加齢日をさす。

生まれたという事実は、生まれた以上誰にもあるものの、誕生日は、すぐれて社会的現象である。出生日が特定できるためには暦を必要とするし、加齢日・記念日となるためには、さらに一定の社会状況が必要となる。

誕生日の個人化

戦前まで、日本社会において年を取る日は誕生日ではなかった。今でも、高齢者の中には「数えていくつ」と、数え年で年齢を計算する人がいる。生まれた時点で既に1歳で、正月が来るごとに1歳ずつ年を取る。したがって、出生年さえわかれば、年齢は算出でき、「数え年のほうがわかりやすい」(堀井, 2008)。数え年は、年齢が社会的存在であることを意味していた。堀井(2008)の表現を借りれば、「おとなは一年を区切りとして生きていた」。

年齢計算を、数え(年)から満年齢に改める「年齢計算ニ関スル法律」が日本で施行されたのは、100年以上も前の1902(明治35)年で

ある。それにもかかわらず、これ以後も社会慣習として使われ続けた。そのため、1950年にあらためて「年齢のとなえ方に関する法律」を制定せざるをえなかった。制定の背後には、「若返る」ことで日本人の気持ちを明るくさせる、国際標準の導入、敗戦直後の配給における不合理の解消などがあった(同法の提案者である山本有三参院議員による趣旨説明)。同法には、以下のように書かれている。

年齢を数え年によつて言い表わす従来のならわしを改めて、年齢計算に関する法律(明治35年法律第50号)の規定により算定した年数(一年に達しないときは、月数)によってこれを言い表わすのを常とするように心がけなければならない。

この法律によって、市民に対して満年齢による加齢が推奨されると同時に、行政機関に対しては満年齢の使用が義務付けられた。これ以来、数え年で行われてきた、七五三や年祝などの行事も満年齢で行われるようになった(ただし厄年は例外で、これは平安時代以降の厄年に関する記述がすべて数え年を基準にしていることによる)。

誕生日祝いを家庭行事として実践する人が出現し始めたのは大正期であり(滝野, 2000)、それが富裕家庭から一般家庭に普及したのは、戦後になってからとされる。西欧社会でも、誕

わたしたちにとって誕生日とは何か

生日の祝賀が「大々的にされるのは、現代にかなり入ってから」(Chudacoff, 1989) だという。

満年齢制の定着によって、歳を取る日が正月から出生日に移動し、社会的加齢が個人的加齢へと姿を変えた。「満年齢思想」の背後にある「まず個人が存在する」という思想は「“キャラクターを持たなければいけないという病い”と連動」(堀井, 2008) するなど、「加齢日としての誕生日」化は「加齢年齢の個人化」(滝野, 2003) をもたらした。さらに、家族システムにとって、誕生日は、家族で「誕生日を祝いあい、相互に記憶し合うこと」(滝野, 2003)、「成員一人一人にアイデンティティを配分する」(佐藤, 1996) 機会となる可能性も持っている(誕生日祝いの食事場面に注目すると、それも変容しつつある(岩村, 2010))。

誕生日に関する心理学的研究

わたしたちがいま誕生日を意識する機会は増えている。携帯電話のアドレス帳における誕生日欄、携帯メールアドレスに埋め込まれる誕生日(誕生日を埋め込む人は、学生の場合、2, 3割程度見られる)、誕生日メールの交換、誕生日に届くダイレクトメールや電子メール、誕生日石、(推奨されていないが)誕生日の暗証番号への適用は、いずれもすぐ浮かぶ例である。

誕生日に関する心理学的研究は少ないものの、これまでにいくつか行われている。それらを見てみよう。

自分の誕生日に含まれる数字を、含まれない数字よりも肯定的に評価する現象「誕生日効果」(birthday number effect) が知られている。この現象は単純所有効果によって説明される。それによると、潜在的な自己評価は一般に肯定

的で、「自己との関連が強い事物」に「その肯定性が波及する」(脇本, 2009)。実際、Kitayama and Karasawa (1997) は誕生日効果を潜在的な自己評価の指標に用い、日本人の肯定的自己評価の存在を見出している。

他方、誕生日前後に自殺する人が偶然確率以上に多いとの報告もある。Barraclough and Hughes (1987) は、イングランド南東部のある州のデータから、誕生日を挟む前後30日間に自殺する75歳以上の高齢者が偶然確率以上に多くいることを見出した。この現象は75歳未満では確認されなかったという。その後、大規模サンプルを用いて行われた、米国(Wasserman and Stack, 1994)、および台湾(Chuan and Huang, 1996)での追試では、いずれもこうした傾向は認められなかった。このように一貫した結果が得られていないことについて、Wasserman and Stack (1994) も、Chuan and Huang (1996) も、誕生日の社会的意味における文化差の可能性を指摘するにとどまっている。

1969年から90年までにカリフォルニアで亡くなった300万人の死亡証明書を分析したPhillips, Van Voorhees, and Ruth (1992)によれば、「女性は誕生日の翌週に、男性は誕生日の1週間まえに死亡する人が多かった」。その背景として、女性は「誕生日を祝い事として楽しみにする」のに対し、男性は「自分の人生を振り返る機会としてとらえ、なんと実りのない人生であったかと失望」(In Wiseman, 2007, 殿村訳(2008))するためではないかと推測されている。この研究をめぐって議論が百出しているものの、誕生日が間接的に健康状態をも左右する可能性を示唆している。このように、誕生日の心理学的効果は一様ではない。

ある誕生日になる確率は1/365と小さい。そのことから、以下のような錯誤が観察されている。誕生日の一致するペアが出現する確率を過小評価する傾向、「誕生日パラドックス」である。

1年を365日として「何人集まれば同じ誕生日の人がいる確率が1/2を超えるか?」という問題があります。その答えが23人。想像していた数よりもずっと少ないのではないのでしょうか。そこがパラドックスと言われる所以で、論理的矛盾があるわけではなく、答えは直感をはるかに下回る数だということです。…おそらく「誕生日が同じなんて、奇遇だね!」とは言えなくなってしまう(菊池, 2010)。

23人の集団で誕生日の一致するペアの出現する確率は5割を上回るにもかかわらず、当の本人はもとより、周囲の人までも、その一致を「奇遇」と錯覚してしまう。goo (2009)の調査でも、誕生日の一致を「運命」と感じる人は多く、とりわけ女性で、その重みが大きい(表1, 男性の場合, 2位の「趣味」は誕生日の7割強の重みを持つのに対し、女性の場合, 2位

の「趣味」は4割の重みしか持たない)。もちろん、自分の誕生日と同じ人に会う確率に限れば、30人集団で7.65%とかなり低くなる(CASIO, 2010)。

一致の過小評価から、このような行動も生じることとなる。人は誕生日が(偶然に)同じ相手からの要請には、共通のファーストネームや、類似した指紋パターン同様、応じやすいという(Burger, Soroka, Gonzago, Murphy, and Somervell, 2004)。

他人の誕生日を祝うかどうかは、その人との親密度に依存する。誕生日メールのやりとりやお祝いなどからなる「誕生日コミュニケーション」は、親しい友人との間で頻繁に見られるのに対し、親しくない友人の間ではほとんど見られない(宮本, 2007)。さらに、誕生日コミュニケーション頻度には有意な性差がみられ、女性で高い。交互作用も有意であることから、誕生日コミュニケーションは「親しい友人において男性よりも女性で頻繁に」行われている(図1)。

表1 「一緒であることに運命を感じるランキング」(goo, 2009)

女性		男性		
1位	誕生日	100.0	誕生日	100.0
2位	趣味	40.3	趣味	76.8
3位	好きな映画, 本	31.5	好きな映画, 本	42.3
4位	携帯の下4桁	28.5	将来の夢	39.3
5位	将来の夢	28.5	携帯の下4桁	32.7
6位	親同士が同級生	27.0	出身地	29.8
7位	行きつけのお店	18.4	出身校	28.6
8位	名前	15.1	名前	23.8
9位	一番好きな食べ物	12.3	行きつけのお店	23.8
10位	出身地	12.1	一番好きな食べ物	23.2

(注) 数字の単位は不明。ただし1位を100として、2位以下の結果を相対化しているようである。

わたしたちにとって誕生日とは何か

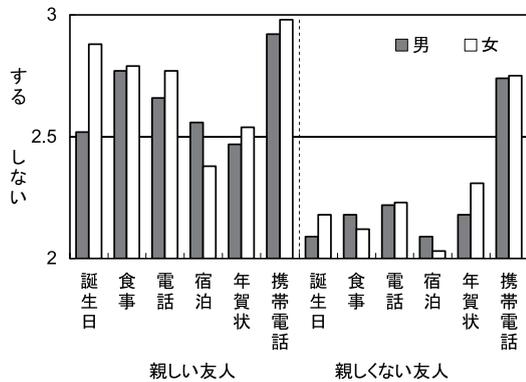


図1 親しさの異なり別に見たコミュニケーション行動の実行度 (宮本, 2007)

誕生日祝いや誕生日に対する意識には、これまで見てきた研究からもうかがえるように、一定の性差が見られる。大学生 100 名を対象に行った小南 (2007) の調査によれば、「友人の誕生日に関心を持っているか」に対する回答では性差が見られ、女性の方が「持っている」と答えた人が有意に多い (直接確率計算, $p = .0017$)。また誕生日を知っている友人数も男性が 8.8 人であるのに対し、女性は 22.6 人と、男性の 2.5 倍強である。小南 (2007) では、インタビュー調査も行われている。その記録は、今の若者の誕生日行動を知る貴重な材料であり、今回、その逐語録を付録にかかげた。

個人的にも対人的にも一定の効果を有する誕生日。いったい、どんな存在として受け止められているのだろうか。本研究は、誕生日ないし誕生日祝いそのものに対する意識に関する基礎資料が得られることをねらっている。

方法

回答者

首都圏 30 km 圏内に住む 20 代から 60 代の

400 名。実際には、マーケティング・サービス社のリサーチモニター (15,000 名) から、年齢・性別によるクォータ・サンプリングを行い、1200 名が抽出された。内訳は、20 歳台 400 名、30 歳台 400 名、40 歳台 200 名、50 歳台 200 名、60 歳台 100 名 (いずれも男女半々) である。ついで、対象者全員にメールで調査実施を告知し、年齢・性別ごとに、指定人数、すなわち、20 歳台 100 名、30 歳台 100 名、40 歳台 80 名、50 歳台 80 名、60 歳台 40 名 (いずれも男女半々) に達した時点で、回答は締め切られた。

回答者の平均年齢は 41.1 歳 ($SD = 13.36$ 歳) だった。職業別に見ると、勤め人 (パートやバイトを含む) 60.5%、専業主婦 16.5%、自営業 8.8%、学生 7.8%、無職 5.0%、その他 1.5% となっている。婚姻状況は、未既 33.3%、既婚 60.4%、死離別 6.3% である。

手続き

2008 年 11 月 14-16 日の 3 日間、ネット上でフォームによる調査が実施された。実際の質問は、単純集計とともに付録にかかげた。

結果と考察

以下、設問の紹介とともに結果を見て行く。

自分の誕生日を気に入っているか

「自分の誕生日を気に入っているか」、つまり自分の誕生日に対する好悪を、5 件法でたずねたところ、「1. とても気に入っている」26.8%、「2. まあ気に入っている」39.8%、「3. どちらでもない」25.3%、「4. あまり気に入っていない」7.8%、「5. まったく気に入っていない」0.5%

となり、気に入っている人 (1+2) が 66.6% を占める。他方、気に入らない人 (4+5) は 8.3% と、わずかながら、存在する。

後者の人はどんな理由で自分の誕生日が気に入らないのだろうか。理由の自由記述を整理した結果、「タイミングが悪い」が大半を占めた。その中で、最も多かったのが、時期や季節的な理由 (14 名) で、お盆や梅雨の時期に当たる、男なのに乙女座生まれといったことがかかげられている。ついで、「クリスマスなど他の行事と一緒にすまされてしまう」8 名、「年や年度の最初に当たっていて、すぐ年を取ってしまう」5 名、「大事故 (日航機墜落事故) のあった日で気分が沈む」1 名となっている。タイミング以外の理由としては、「数字の並びが悪い」があげられていた。11 月 1 日生まれの人が「すべて 1 で単純すぎる」といった趣旨である (1 名)。さらに「誕生日と出生日が違うから」という人も 1 名みられた。

気に入っていると答えた人の理由も、ほぼ同様である。「タイミングがよい」(季節がよい、祝日で一緒に祝ってもらえる、など)、「数字の並びがよい」(語呂がよい、覚えてもらいやすい、など)、「自分の生まれた日だから」が、それぞれ 32 名前後にのぼった。

タイミングに同じく注目していても、そのことを肯定的にとらえる人と否定的にとらえる人に分かれる。なお、誕生日に対する好悪の程度について、性差も年齢差も有意ではなかった。

自分と同じ誕生日の有名人を知っているか

自分の誕生日に関する関心の指標として、同一誕生日の有名人に関する知識の有無をたずねた。自分と同じ誕生日の有名人を知っていると

答えた人は 41.5%、知らないと答えた人は 58.5% という結果だった (実際にあげられた人名を付録にかかげた)。

アイシェア (2008) のモニター調査によれば、同様の質問に対する回答は性差が見られ、知っている人は男性 44.8%、女性 62.5% だった (全体で 52.6%)。再分析 (直接確率計算) でも、.01% レベルで有意となった。

前問の、自身の誕生日に対する好悪との関連を検討したところ、自分の誕生日が気に入っていると回答した人で、有名人の誕生日を知っている人が有意に多く見られた。北朝鮮の金正日と誕生日の同じ回答者が、「とてもいやなのですが」と、ただし書きで彼の名前を挙げていた (逆栄光浴)。

家族成員の誕生日を知っているか

誕生日全般に対する関心の一指標として、他の家族成員の誕生日を知っているか、たずねた (図 2)。その結果、父親 (84.5%)、母親 (88.5%)、子 (該当者の 98.6%)、きょうだい (同じく 85.9%)、祖父母 (13.8%) となり、定位家族 (子) の認知度が最も高い。同様の調査によ

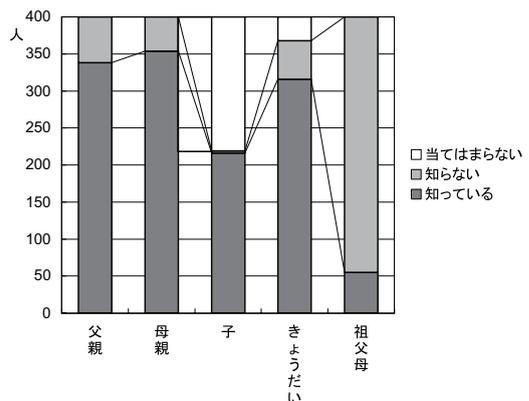


図 2 家族成員の誕生日の認知

わたしたちにとって誕生日とは何か

れば (アイシユア, 2008), 父親 (87.6%), 母親 (87.9%), 子 (該当者の 99.3%), きょうだい (同じく 92.4%), 配偶者・恋人 (同じく 99.2%) と, 定位家族に加え, 重要他者 (配偶者・恋人) の認知度が高い。

性差を検討したところ, きょうだいを除く他の成員の誕生日について, 女性の方が誕生日を知っている人は多かった。

身近な人で誕生日を知っている人は何人いるか

誕生日全般に対する関心のもう一つの指標として, 誕生日を知っている (家族を除く) 身近な人の数 (サイズ) をたずねた。

全体の平均サイズは 6.52 人 (SD=7.52 人) となった。回答者の年齢と性を独立変数とする 2 要因分散分析を適用した結果, 年齢, 性ともに有意な主効果が認められた (それぞれ $F(4,390) = 6.80$, $F(1,390) = 18.05$, ともに $p < .000$)。多重比較 (Tukey の HSD) の結果, 20 歳台 < 40 歳台, 20 歳台 > 50 歳台, 20 歳台 > 60 歳台, 30

歳台 > 40 歳台, 30 歳台 > 60 歳台の組み合わせで有意となった。カテゴリ別の平均サイズと標準偏差 (SD) を表 2 にかかげた。

誕生日とは何か

「自分にとって誕生日とは何か」を自由記述で書いてもらった。その結果を, 年齢別に整理すると, つぎのようになった (順不同)。

20 代: 生まれた日。この世に生まれた大切な日。めでたい日。年に 1 度の特別な日。記念日。年を重ねる日。自分の成長を確認する日。自分を褒める日。無事に 1 年を過ごせたことを感謝する日。1 年を振り返る日。決意を新たにすることの日。節目・区切りの日。歳をとる日。親に感謝する日。自分が主役になる日。祝ってもらえる日。自分のことを思い出してもらう日。プレゼントがもらえる日。ケーキを食べる日。友人と祝う日。占いの手がかり。特に意味はない。

30 代: 生まれた日。この世に生まれた大切な日。生まれてきたことを感謝する日。年に 1 度の特別な日。記念日。大人に近づく日。年を重ねる日。自分の成長を確認する日。家族と祝う日。家族に感謝する日。周囲の人に感謝する日。親に感謝する日。過去を振り返る日。1 年を振り返る日。決意を新たにすることの日。節目・区切りの日。1 年の無事を祈る日。気分を切り替える日。歳をとる日。祝ってもらえる日。友人と連絡を取る日。わくわくする日。プレゼントがもらえる日。ケーキを食べる日。幸せに過ごしたい日。来てほしくないが祝われるとうれしい日。老化を意識させられる日。特に意味はない。

40 代: めでたい日。1 年を振り返る日。友人

表 2 年齢と性からみた誕生日を知っている身近な人の数

(1) 年齢別

	平均	SD
20 歳台	8.86	8.86
30 歳台	7.35	8.49
40 歳台	4.50	4.74
50 歳台	5.95	5.39
60 歳台	3.75	4.41

(2) 性別

	平均	SD
男性	4.54	5.52
女性	7.62	8.34

に思いをはせる日。生き方を考える日。節目・区切りの日。自分を褒める日。新たな目標を立てる日。無事に1年を過ごせたことを感謝する日。人生を振り返る日。親に感謝する日。自分の親が親になった日。わくわくする日。家族と食事に行く日。わがまを言える日。来てほしくない日。あまりうれしくない日。

50代：生まれた日。この世に生まれた大切な日。特別な日。記念日。年を重ねる日。歳を取ったことを実感する日。自分を見つめる日。反省する日。自分を褒める日。1年を振り返る日。新たな1年の始まる日。無事に1年を過ごせたことを感謝する日。生まれた当時のことを思い出す日。親に感謝する日。自分の親が親になった日。家族の集まる日。家族に祝われる日。行事の日。免許などを更新する日。来てほしくない日。死への恐怖が増す日。

60代：生まれてきた偶然に感謝する日。大切な日。生きている証の日。命の大切さを意識する日。人生を祝う日。忘れられない日。家族が集まる日。家族に感謝する日。これまで無事に生きてこられたことを感謝する日。健康診断の日。人生を振り返る日。1年間の無事を祈る

日。自分を見つめる日。節目・区切りの日。歳を重ねる日。残された時間を意識する日。年輪のでき始めた日。

総じて、誕生日の意義は、年齢とともに変化するものと、そうでないものとに分かれる。前者では、誕生日に振り返る時間範囲が1年間からそれまでの人生全体へと長くなって行く、親に感謝する日であることに変わりはないものの(自身が親になるという立場の変化から)、自分の親が親になったことに思いをはせる機会へとという変化、感謝の対象が親から、自分の形成した家族(定位家族)へと移行する、加齢日が成熟機会から人生のカウントダウンと移行して行く、といったことがあげられる。他方、年齢にかかわらず一定程度みられた誕生日の意義としては、生を受けた日(生まれてきた日)、生んでくれた親、そして1年のあいだ健康で無事に過ごすことのできたこと、それぞれに感謝する日となっている点があげられる。

自分の誕生日がどのくらい待ち遠しいか

5件法でたずねた結果は、「とても」と「まあ」を合わせても、「待ち遠しい」人は16.8%

表3 自分の誕生日への期待と年齢

回答者の年齢 (人数)	誕生日への期待度*				
	1. とても待ち 遠しい	2. まあ待ち遠 しい	3. どちらでも ない	4. あまり待ち 遠しくない	5. まったく待 ち遠しくない
20歳台 (100)	3	27	38	26	6
30歳台 (100)	1	14	47	25	13
40歳台 (80)	1	8	35	27	9
50歳台 (80)	2	7	35	24	12
60歳台 (40)	2	2	17	17	2
全体 (400)	9	58	172	119	42

(注) *1と2, 4と5, それぞれを統合したうえで、年齢別に直接確率計算(中落ち分断法)を行ったところ、30歳台以上で有意である(p=.000-.003)。

わたしたちにとって誕生日とは何か

と2割に満たない。それに対し、「とても」と「あまり」を含めた「待ち遠しくない」人は40%にのぼる。例外は20歳台で「待ち遠しい」人と「待ち遠しくない」人とに有意な差は見られない。30歳台以上から、「待ち遠しくない」人が「待ち遠しい」人より有意に多い(表3)。

誕生日が待ち遠しくないと回答した人は、どんな理由を書いているのだろうか。誕生日の到来を忌避する最大の理由は「年を重ねるだけ」「年を重ねたくない」の107名で、以下、「死を意識する」「一定年齢に達した」「年齢相応の成長を果たしていない」「誕生日にはいやなことが起きる」が続く。他方、待ち遠しいとする人の理由は「祝ってもらえる」が29名で最も多く、以下「自分が主人公の日」「人生の節目」「記念日」といった内容が続き、忌避する理由に比べると、対人的内容が上位にあがっている。

誰に誕生日を祝ってほしいか

誕生日祝いには家族行事としての側面(佐藤, 1996)と、友人関係を維持する行動(宮本, 2007)としての側面がある。では、誕生日祝いを家族に祝ってほしい人、家族以外の人に祝ってほしい人は、それぞれ、どのくらいいるのだろうか。それぞれの結果は表4に示す通りである。

る。

家族に祝ってほしい人59.0%、家族以外の人に祝ってほしい人35.0%と、誕生日祝いは家族行事としての側面の強いことがうかがえる。さらに、両者の間の順位相関係数を求めたところ、 $\rho=.348$ ($p=.000$)となり、家族に祝ってほしい程度と家族以外の人に祝ってほしい程度との間には一定の関連がみられる。

家族に祝ってほしいに対し、「はい」と回答した人、「どちらでもない」と回答した人、「いいえ」と回答した人、それぞれの理由からみていこう(順不同)。

家族に祝ってほしい「はい」の理由: 家族は大切な存在だから。家族に認められている証だから。大切な家族に祝ってもらいたいから。家族を実感したいから(つながりを確認したいから)。喜びを家族と共有したいから。家族の雰囲気よくなるから。家族の絆が強まるから。家族が一番身近な人だから。家族に覚えてもらえているとうれしい(忘れられていたら悲しい)から。生んでくれた親に祝ってもらえるから。家族行事・文化だから。一年に一度家族の中の主人公になれるから。家族以外に祝ってくれる人がいないから。ケーキやプレゼントがもらえるから。

表4 誕生日を家族に祝ってほしい程度と家族以外に祝ってほしい程度

家族に祝ってほしい	家族以外の人に祝ってほしい			計
	はい	どちらでもない	いいえ	
はい	112	107	17	236
どちらでもない	27	95	22	144
いいえ	1	9	10	20
計	140	211	49	400

家族に祝ってほしい「どちらでもない」の理由：誕生日に意味がないから。恥ずかしい（照れくさい）から。もう大人だから（もういい歳なので）。もううれしい歳ではない。気にしていない。興味が無い。祝ってもらったことがない（祝う習慣がない）。覚えてくれているだけで十分。お返しが大変。この日だけ祝ってもらってもうれしくない。家族が関心を持っていない。

家族に祝ってほしい「いいえ」の理由：家族で祝う習慣がない。面倒だから。もううれしい歳ではない。もう子供ではない。誰も覚えていない。

家族に祝ってほしいと思っている人（全体の59.0%）は、家族成員に自分の存在を認めてほしいといった社会的承認にかかわる理由、家族としての一体感を高めたいという家族集団維持にかかわる理由があげられている。それに対し、そう思っていない（「どちらでもない」(36.0%)、「いいえ」(5.0%)と回答した）人は、年齢にかかわるもの（一定年齢に達したら、誕生日祝いは不要）、家族で祝う習慣がない、誕生日に対する無関心を、その理由としてあげている。家族で誕生日を祝うことの相対的地位の低下がうかがえる。

つぎに、家族以外の人に祝ってほしいかという設問に対し、「はい」と回答した人、「どちらでもない」と回答した人、「いいえ」と回答した人、それぞれの理由をみてみよう（順不同）。

家族以外に祝ってほしい「はい」の理由：祝ってもらえること自体がうれしい。相手との親しさが確認できる。一緒に過ごすのは楽しい。自分の存在が認められていると感じられる。家族以外で自分のことを思ってくれる人がいると

感じられる。自分の誕生日を知ってもらえるだけでうれしい。みんなが集まるきっかけになる。

家族以外に祝ってほしい「どちらでもない」「いいえ」の理由：誕生日は個人的なこと。他人に祝ってもらう年齢ではない。「おめでとう」と言われるだけで十分。照れくさい。わずらわしい。負担をかけたくない。家族に祝ってもらうだけで十分。お返しが負担。年齢を知られたくない。誕生日は特別な日ではない。

家族以外に祝ってほしいと思っている人（全体の35.0%）は、誕生日祝い共通の価値に加え、友人たちと過ごすきっかけとしての価値を認めている。他方、そう思わない人（65.0%）は、煩わしさといった対人的理由や、誕生日は個人的なことであることを、その理由としてあげ、女性に限ると、年齢を知られたくないことも含まれる。

最後に、誕生日の待ち遠しさ（期待）を従属変数とし、誕生日の気に入る度、有名人の誕生日に関する知識度、誕生日を知っている身近な人の数、性、年齢を独立変数とする重回帰分析を行った。その結果、有意な効果を持っていたのは、誕生日の気に入る度、年齢、誕生日を知っている身近な人の数で（それぞれ、 $\beta = .185, .133, -.114$ ）、他の変数は有意ではなかった（調整済み $R^2 = .067$ ）。つまり、自分の誕生日を気に入っている程度の高さ、年齢の低さ、さらに誕生日を知っている身近な人の多さが、その人の誕生日期待を高めている。

まとめ

成人男女 400 名に誕生日に関する調査を行った。その結果、自身の誕生日を気に入っている人は 2/3 にのぼり、その好悪は、社会的・自然

わたしたちにとって誕生日とは何か

的タイミングと数字のならびに左右される。自分の誕生日と同一の有名人を知っている人は41.5%と半数を下回り、その知識を持つ人は、自分の誕生日を気に入っている人に多く見られた。身近な家族では、子供の誕生日を知っている人が最も多く、両親がそれに次ぐ（今回、配偶者についてははずねていない）。身近な友人で誕生日を知っている人の数は全体で6.52人となり、若年ほど多く、女性が多かった。自分の誕生日を待ち遠しく思っている人は16.8%にとどまり、20代でのみ、待ち遠しいとする人の数とそうでない人の数とが伯仲していた。誕生日の意義は年齢との関連がみられ、誕生日を機に振り返られる遡求時間が1年を上回るようになり、人生全体に及ぶようになる。親への単なる感謝が、親になった両親への思いを重ねるようになる。変化しないものとしては、生まれた日としての誕生日、節目としての誕生日という意義があげられる。誕生日祝いは個人的なものであり、家族で祝うことが基本である。

全体として、誕生日に関わる意識や行動には年齢との関連がみられた。今後、属性変数（社会経済地位など）や心理変数（幸福感や人生充実度、自己概念などの個人内要因、対人要因）を組み込んだ検討を進めたい。

おわりに

人はある特定の時代の、ある特定の社会に、そして、ある特定の（家族）状況のもとで生まれる。誕生日は、自分が生まれた日であると同時に、自分を生んでくれたことに感謝する日でもある。

ある教え子が、自分の誕生日に、亡くなった

母に感謝しつつ、誕生日に対する思いを次のように記した（以下は、ネット上の日記からの転載である。ただし本人が特定できないよう、大意に関係ない範囲で改変してある）。

私、今日、誕生日だったんですよ。
なんとまあ29歳になっちゃったんですよ。
で、まあ今年に限った話ではないですが、だんだん「おめでとう」と言われるのに抵抗を感じてまして。
一つ歳をとって、めでたい？ ねえ、めでたいの？ と思っていた。
29にもなってこんなだし、もっと昔に考えてた29歳にはちっともなれてないし。
その辺掘り下げていったら、鬱々としてくるだけだし。
でも、ちょっと考え方を変えてみた。
29年前の今日、私の母は頑張って、腹を痛めて、私をこの世に送り出した。
母が私を生んでくれたのが「今日」なんだな、って。
そう思ったら、年齢とかそういうのは関係ないように思えてきた。
ただ「ありがとう」って思った。
29年経って、こんなしょーもない人間になってるけど、でもありがとうって思った。
きっと母には謝らなきゃいけないことばかりだけど。
でも、それをどっかへ置いておいて。
ありがとう。
そうやって、とにかく生んでくれたことに感謝する日が誕生日ってヤツなのだなって、思った。
そうしたら、今日のこの日が、少し大事な日に思えた。
ちょっと視点を変えるだけで、全然違うことを感じるんだなって思った。
うん、大事ですよ。誕生日って。
きっと幾つになっても。

筆者の個人的な思いについてはここではふれないが、彼女の日記は、自身の誕生日に対する理解を深めることの意義を気づかせてくれるのに十分な内容である。

出生当時の家族のようす、さらには当時の社会状況を、家族の話や新聞記事などを手がかりに理解することは想像以上に、自身の理解にとって重要な意味を持つのではないだろうか。その理解の過程で、ネガティブなことがら明らかになるかもしれない。しかし、自分にかかわることである以上、それをも含めたトータルな理解は人生のどこかで経験する必要がある。

これまで見てきたように、誕生日は、誕生日祝いを伴うことで、対人的な性格も帯びる。ある大学生は、誕生日当日、次のように綴った(あるブログから)。

誕生日って、楽しく過ごせなきゃ不幸な気がしちゃうじゃないですか。ついつい、祝われることを期待しちゃうじゃないですか。普通に過ごしたいのにできない。

そして、そんな自分に自己嫌悪するという。だから誕生日嫌い。

誕生日にまつわる一定のステレオタイプはときとして、苦痛の原因となることもある。実際、「誕生日 嫌い」でネットを検索すると、彼女と同じような気持ちを綴った例にいくつも出会う。同時に、教え子の例もそうであるように、あることがきっかけで、誕生日が肯定的存在に転化した例にも出会える。

誕生日をあらためて考えてみたい。

注 本研究は、東京経済大学個人研究助成費 B による研究成果の一部である。成果の一部は、川浦

(2008) で報告された。

謝辞 付録としてインタビュー記録を転載することに同意いただいた小南智子さん、「おわりに」での日記の転載を許可してくれた教え子に、この場を借りてお礼申し上げたい。

引用文献

- アイシエア (2008). 両親・家族の誕生日認知度に関する意識調査 <http://blogch.jp/up/2008/07/24104419.html>
- Barraclough, B., and Hughes, J. (1987). *Suicide: Clinical and epidemiological studies*. London: Croom Helm.
- Burger, J. M., Soroka, S., Gonzago, K., Murphy, E., and Somervell, E. (2004). What a coincidence!: The effects of incidental similarity on compliance. *Personality and Social Psychology Bulletin*, **30**, 35-43.
- CASIO (2010). 誕生日のパラドックス <http://keisan.casio.jp/keisan/unchiku/#birthparadox>
- Chuan, H. and Huang, W. (1996). Age, birthdays, and suicide in Taiwan. *The Journal of Social Psychology*, **136**, 659-660.
- Chudacoff, H. P. (1989). *How old are you?: Age consciousness in American culture*. Princeton University Press. (工藤政司・藤田永祐 (訳) (1994). 年齢意識の社会学 法政大学出版局)
- goo (2009). 一緒であることに運命を感じることにランキング <http://ranking.goo.ne.jp/column/article/goorank/9535/>
- 堀井憲一郎 (2008). 落語の国からのぞいてみれば 講談社
- 岩村暢子 (2010). 家族の勝手にでしょ! : 写真 274 枚で見る食卓の喜劇 新潮社
- 川浦康至 (2008). 誕生日とは何か: 誕生日意識に関する予備調査 日本社会心理学会第 49 回大会発表論文集, pp. 708-709.
- 菊池邦子 (2010). W カップ代表メンバーと誕生日のパラドックス <http://www.nikkeiscience>.

わたしたちにとって誕生日とは何か

com/2010/05/post-dbab.html

Kitayama, S. and Karasawa, M. (1997). Implicit self-esteem in Japan: Name letters and birthday numbers. *Personality and Social Psychology Bulletin*, **23**, 736-742.

小南智子 (2007). 友人関係における誕生日の機能 横浜市立大学国際文化学部人間科学科 2006 年度卒業論文

宮本聡介 (2007). 親しくない友人が「友人」でありうる条件 日本社会心理学会第 48 回大会 発表論文集, pp. 522-523.

Phillips, D. P., Van Voorhees, C. A., and Ruth, T. E. (1992). The birthday: Lifeline or deadline? *Psychosomatic Medicine*, **54**, 532-542.

佐藤健二 (1996). 家庭文化の歴史社会学に向けて 井上俊ほか (編) 〈家族〉の社会学 (岩波講座現代社会学 19) 岩波書店 pp. 101-117.

滝野正樹 (2000). 明治・大正期の「誕生日」祝い: 明治・大正期の婦人雑誌記事を中心に 現代風俗学研究, **6**, 3-14.

滝野正樹 (2003). 近代日本における「誕生日数え年」の意味: 「誕生日」祝いの習慣化による「加齢」の感覚移動について 生活学論叢, **8**, 3-14.

脇本竜太郎 (2009). 存在論的恐怖と社会的文脈が誕生日効果に及ぼす影響 日本社会心理学会第 50 回大会論文集, pp. 516-517.

Wasserman, I. and Stack, S. (1994). Age, birthdays, and suicide. *The Journal of Social Psychology*, **134**, 493-495.

Wiseman, R. (2007). *Quirkology: How we discover the big truths in small things*. Basic Books. (殿村直子 (訳) (2008). Q のしっぽはどっち向き?: 3 秒で人を見抜く心理学 日本放送出版協会)

付録

1. 調査票と単純集計

Q1 あなたの誕生日 (実月日)

Q2 あなたは自分の誕生日を気に入っていますか。

- | | | |
|-----------------|-----|---------|
| 1. とても気に入っている | 107 | (26.8%) |
| 2. まあ気に入っている | 159 | (39.8%) |
| 3. どちらでもない | 101 | (25.3%) |
| 4. あまり気に入っていない | 31 | (7.8%) |
| 5. まったく気に入っていない | 2 | (0.5%) |

SQ その理由を教えてください。(自由記述)

Q3 あなたは自分と同じ誕生日の有名人を知っていますか。

- | | | |
|----------|-----|---------|
| 1. はい→SQ | 166 | (41.5%) |
| 2. いいえ | 234 | (58.5%) |

SQ (「はい」と答えた人に) その人の名前を教えてください。(自由記述)
(人名を別掲)

Q4 a あなたはお父さんの誕生日を知っていますか。

- | | | |
|--------|-----|---------|
| 1. はい | 338 | (84.5%) |
| 2. いいえ | 62 | (15.5%) |

b あなたはお母さんの誕生日を知っていますか。

- | | | |
|--------|-----|---------|
| 1. はい | 354 | (88.5%) |
| 2. いいえ | 46 | (11.5%) |

c あなたはお子さんの誕生日を知っていますか。

- | | | |
|------------|-----|---------|
| 1. はい | 216 | (54.0%) |
| 2. いいえ | 3 | (0.8%) |
| 3. 子どもはいない | 181 | (45.3%) |

d あなたはきょうだいの誕生日を知っていますか。

- | | | |
|--------|-----|---------|
| 1. はい | 316 | (79.0%) |
| 2. いいえ | 52 | (13.0%) |

3. きょうだいはいない 32 (8.0%)
- e あなたは祖父母の誕生日を知っていますか。
1. はい 55 (13.8%)
2. いいえ 345 (86.3%)
- Q5 あなたの身近な人で、すぐ誕生日を思い出せる人は何人いますか。(実数) 平均 6.52 人 SD 7.25 人
- Q6 あなたにとって誕生日とはどんな日ですか。(自由記述)
- Q7 あなたは自分の誕生日がどのくらい待ち遠しいですか。
1. とても待ち遠しい 9 (2.3%)
2. まあ待ち遠しい 58 (14.5%)
3. どちらでもない 172 (43.0%)
4. あまり待ち遠しくない 119 (29.8%)
5. まったく待ち遠しくない 42 (10.5%)
- SQ その理由を教えてください。(自由記述)
- Q8 あなたは家族から自分の誕生日を祝ってほしいですか。
1. はい 236 (59.0%)
2. どちらでもない 144 (36.0%)
3. いいえ 20 (5.0%)
- SQ その理由を教えてください。(自由記述)
- Q9 あなたは家族以外の人から自分の誕生日を祝ってほしいですか。
1. はい 140 (35.0%)
2. どちらでもない 211 (52.8%)
3. いいえ 49 (12.3%)
- SQ その理由を教えてください。(自由記述)
- Q10 あなたの誕生日に関するエピソードを教

えてください。(自由記述)
(省略)

- Q11 あなたの性別
1. 男 200 (50.0%)
2. 女 200 (50.0%)
- Q12 あなたの年齢 (実数) 平均 41.9 歳
- Q13 あなたの婚姻状況
1. 未婚 133 (33.3%)
2. 既婚 242 (60.5%)
3. 離別・死別 25 (6.3%)
- Q14 あなたの職業
1. 勤め人 (パート・アルバイトを含む) 242 (60.5%)
2. 自営業 35 (8.8%)
3. 専業主婦 66 (16.5%)
4. 学生 31 (7.8%)
5. 無職 20 (5.0%)
6. その他 6 (1.5%)
- Q15 あなたの家族人数 (実数) 平均 2.7 人
- Q3 SQ の記入内容 (表頭の数字は回答者の年齢)
- (1) 20 代
- 21 江口洋介
- 21 坂本龍馬
- 21 明石家さんま, 江頭 2:50
- 21 王貞治, ジョン・スチュアート・ミル, 相田みつを, 益子直美, 河村隆一, 光浦靖子, 永井大, 田中賢介
- 21 チャイコフスキー, 萩本欽一
- 21 江藤智
- 21 宮沢賢治
- 22 安めぐみ

わたしたちにとって誕生日とは何か

- 22 ポール・マッカートニー
22 岡村隆史
22 カール・マリア・フォン・ウェーバー
23 長瀬智也, 内山理名
23 坂下千里子, シャラポワ
23 昭和天皇
23 みのもんだ, タモリ, 菅野美穂, ドビッシ
ー, 足利義満
23 糸井重里, デーモン小暮
23 山崎まさよし
23 中居正広
23 森進一, 岡田准一, ミッキーマウス
24 綿矢りさ
24 松田龍平, 森光子, 横山裕
24 ミスチルの人
24 安室奈美恵
24 森本毅郎
24 両津勘吉, 竹中平蔵, 正宗白鳥
25 平井堅, りょう, 前田有紀
25 マライア・キャリー, 松本孝弘, 高中正義
25 草なぎ剛
26 ガッツ石松, 中嶋朋子
26 高橋克典
26 木梨憲武
26 本上まなみ
27 ビビアン・スー
27 大橋巨泉
27 堀北真希, アーキー・シアンフロッコ, 川
嶋勝重
27 今江敏晃
28 鈴木蘭々
28 草なぎ剛
28 安室奈美恵
28 森光子, 松田龍平
28 キティーちゃん, いかりや長助, 小倉優子,
福原愛
28 古田敦也, フレミング, 奥菜恵
28 高橋由伸, 上原浩治
28 織田裕二
28 はまちゃん
28 平山綾
29 浅野温子, 佐野史郎
29 ブルース・リー, 小室哲哉
29 前園真聖
29 小野伸二, 高杉晋作, 羽生喜治, 大杉漣,
岸谷五朗, 八嶋智人, 朝青龍
29 ドラえもん, ウルトラマン
29 篠山紀信, 永井荷風, 金大中, 長州力
29 佐藤敦寛
29 ラモス瑠偉, 藤重政孝
29 山本梓
(2) 30代
30 国分太一
30 木村拓哉, 見栄晴
30 中垣内祐一, 中山加奈子, 佐藤寛之, 深田
恭子
30 いかりや長介, 今陽子
30 郷ひろみ
31 仲間由紀恵
31 高井麻巳子
31 かまやつひろし
31 桑野信義
31 ルノアール
31 石原裕次郎
31 ラサル石井
31 谷亮子, 氷川きよし
31 志保, ラサル石井, 杉山祥子
32 ヒッチコック
32 レオナルド・ダ・ヴィンチ, 南方熊楠, 檜
崎正剛, 東京ディズニーランド
32 篠塚和典
33 木村カエラ, 及川光博, ウェイン・ルーニ
ー
33 坂口憲二
34 高見沢俊彦
34 泉谷しげる, 浜田雅功
34 島田紳介
34 デミ・ムーア, 小森和子
34 片岡鶴太郎, 本木雅弘, 神田正輝
34 リル・ウェイン

- 34 島田紳助, 天野ひろゆき, 綾瀬はるか
 34 本上まなみ
 34 レントゲン博士
 35 研ナオコ
 35 植草克秀
 36 岩崎良美
 36 大原麗子, 木村拓哉, 倅田來未, 由紀さおり
 36 元おにゃんこの人
 36 桑田真澄, 御坊茶魔, キン肉スグル
 36 鼠先輩, カラヤン
 37 淡谷のり子, 諸星克己, 藤島部屋親方, 東幹久
 37 堀ちえみ
 38 ドクター中松
 38 初代貴ノ花, 諸星和己
 38 秋吉久美子, 飛鳥涼
 38 ピカソ, 宇都宮隆, ラッキー池田
 38 ゴジラ松井
 39 榎岡かずお, ドラえもん
 39 ピエール・リトバルスキー
 39 南野陽子, 小山薫堂, 織田信長, 筑紫哲也
 39 松崎しげる
 39 江口洋介
 39 秋篠宮悠仁
- (3) 40代**
- 40 ゴッホ, 坂本冬美, RIKAKO, 島倉千代子, 島野育夫, ラッシャー木村
 40 近藤雅彦
 40 持田香織
 40 南條洋子, 樋口勝, 神宮彰
 41 ミッキーマウス, 森進一, 渡辺満里奈
 41 チャップリン
 41 ニール, ショーン
 41 久保田早紀
 41 ビートたけし
 41 安達祐実, 矢沢永吉
 42 アン・ルイス, 東ちづる, ガッツ石松
 42 近藤真彦
 43 吉田日出子, 沖田浩之
 43 高橋幸宏, 大滝秀治
 44 和田アキ子, さだまさし
 45 蝶野正洋
 45 山口百恵
 45 郷ひろみ
 46 石橋貴明, イチロー
 46 高見沢俊彦
 46 石原裕次郎
 47 月の家圓鏡
 47 マイケル・ジャクソン
 47 阿部寛, 加藤ローザ, メリル・ストリープ
 47 浅野ゆう子
 48 三田佳子
 48 中田英寿
 48 天地真理, 坂下千里子の子
 48 愛川欽也
 49 松井秀喜
 49 ゴッホ
- (4) 50代**
- 50 大竹しのぶ
 50 イングリット・バーグマン, マイケル・ジャクソン
 50 原辰徳, 家田莊子, 長谷川京子, 内村光照
 50 クロード・ドビュシー, タモリ
 50 森昌子
 51 田中角栄
 51 植木等, 中澤ゆういち
 51 アインシュタイン, ほしのあき
 52 秋吉久美子
 53 梓みちよ
 53 石坂浩二
 54 キャメロン・ディアス, 井上陽水, 小谷美可子, 松本潤, 内藤大介
 54 ゲーテ
 54 秋篠宮妃眞子, はしのえみ, 坂口良子, 松井稼頭央
 54 ビビアン・リー
 54 チェット・ベイカー, ミケーレ・アルボレート, 矢田亜希子, 天皇
 54 今陽子

わたしたちにとって誕生日とは何か

- 55 松原智恵子, 大場久美子, エルビス・プレスリー
- 55 美空ひばり, ケネディ大統領
- 55 いかりや長介, 今陽子, 福原愛, キティーちゃん
- 56 金正日
- 56 ダミアン
- 57 橋幸夫
- 59 原辰徳
- 59 正田美智子

(5) 60代

- 60 美智子皇后
- 60 貴乃花
- 60 イエス・キリスト
- 62 クリスチーネ, カウフマン, 某日本人女優
- 68 リンカーン, モーツァルト

2. 「誕生日と友人関係」に関するインタビュー記録
(小南, 2007)

(1) たかひろ君 (大学2年生。21歳, 男性。
アルバイト先の後輩)

自分と仲がいい人ですか? そうですね, 自分としては, 仲がいい人・親友は“一般常識をもっていて, 一緒にいて楽しい人”っていうのがそうなんですけど。そういうことでいいですか? どういう環境の人かっていうと, やっぱり学校の友達とかですね。あとはバイトの人。仲良くしたいとかは, 大体, 第一印象で決まります。人って, 少し話したら, なんとなく分かるじゃないですか。自分と合いそうか合わなさそうか。もし合わなければ, その人とは自然に離れていきますし。

仲がいい人はあんまり意識したことがないんで, 数はわかんないですけど, そんなに多くはないと思います。高校, 大学と女の子がほとんどいないので, 仲がいい人の男女の割合は, 8対2くらいです。そのなかで誕生日を知っている人となると, 1人いるかないかですね。彼女はの場合除くんですけどもね。俺って人の誕生日を覚えられない人間なんです。だから誰の誕生日も知らないと思

いますし, 逆に俺の誕生日を知ってるやつもないと思います。

祝ってもらったことですか? あったかな…。あ! ありましたね。去年初めて祝ってもらいましたよ。あー, ありました, ありました。忘れてましたよ。でも, 祝ってあげたことはないですよ。パーティーという形では, 祝ったことはありません。自分の誕生日を祝ってくれた人には, プレゼントをあげましたけど。

去年のそのパーティーは, サプライズでしたよ。本気でビックリ! みたいな。そのときは, なんて祝われたのかな。あ, 確か俺が自分の誕生日を言ったんですよ, 何の気なしに。そしたら密かに計画されてて。いつ祝われたかというと, 俺の誕生日後です。誕生日当日は, 俺は旅行に行っちゃったんで。実は, 誕生日を言った理由がありまして。「プレゼントくれるかなあ」って。何の気なしじゃないっすね。ちなみにパーティーしてくれたメンバーは, バイトの人たちです。場所は不二家でした。プレゼントも貰いましたよ。

そのときの気持ちですか? そりゃ嬉しかったですよ。他の人もメールくれたりしましたし…って, けっこう俺って誕生日知られてますね。でも, 俺は本当に人の誕生日を覚えられない人種ですけど。

俺は結構プレゼントをあげるほうだと思いますよ。しかもウケ狙いで, 男友達に。さっきも言ったけど, 周りに女の子が少ないので, あげられないって, だけなんですけどね。いつプレゼントをあげてるのかっすか? あ, 誕生日を知らないはずなのに, っていうことですね。そうですね, やっぱり誕生日を知らないんで, 当日っていうよりは, 後日あげることがほとんどですね。だって, 友達が誕生日後に言ってくるんですけども。もしかしたら, 前日に言ったりしてるのかもしれないけど, まったく覚えてませんし。

どういう風に友達が言ってくるのかというと…, 誕生日の次の日とか, 学校であったりすると, ポツリと「プレゼントくれよ。昨日誕生日だったんだ」とか言ってくるんですけどもね。だからあげましたよ, ちゃんと。あげたものは確か, 3COINS

[315円ショップ]の置時計だったと思います。安いですよ。やっぱり女の子と違って、誕生日プレゼントを買うためだけに買い物をしてないんですよ。男って。自分の買い物に行って、そのついでにプレゼントを買って感じだから。だから、毎年とか定期的にはあげませんね。すごいランダムだと思いますよ。それにお互いそんなもんだと思ってますし。

誕生日を祝うことについては、何とも思わないですよ。別に違和感がない。普通に祝ってあげなきゃって思うし、祝ってあげなきゃかわいそうだなって思います。プレゼントと同じですけど、やっぱり男は女の子みたいに“誕生日会”っていう意識とか強くないですし、むしろちゃんとはやらないものだ、とすら考えているから、面倒くさかったらやりません。メールだけにしたりします。

男は、って言うていいのかは分かりませんが、大体そうですよ。そんなに誕生日を考えてないです。いつも考えてる男はいないでしょうね、いたらちょっとキモいし、他に考えることないのかって思います。彼女とか、本当に仲のいいやつ誕生日なら、意識しなくても覚えてるんですよ。その日が近づいたりすると、頭の中にポッと浮かんだり。だから意識する必要がないのかな。脳の仕組みとか分からないんで、はっきり言えないですけど。

俺としては、誕生日を知っていて欲しいのは彼女と親友くらいです、やっぱり。明らかな理由とかは上手く言えないですけどね。あと自分が誕生日を知りたいって思うのは、今言った人と、ふだん顔を合わせることが多い人ですかね。バイトの人や学校の人なんかです。初対面の人が自分の誕生日を知ってること？ ないんじゃないですか？ だって初対面で知りたいとは思いませんし。初対面の人というよりは、親しくない人ですかね。そういう人が自分の誕生日を知っていることについては、悪い気はしませんよ。さすがにまったく知らない人だと、誕生日は知られたくないって思いますけど。そうじゃないなら、普通に嬉しいです。

誕生日を知ってる人は、だから付き合いが長い

人になります。一緒にいることが多い人なんかも仲良くなりやすいから、誕生日を知ってると思いますよ。何度も言いますが、俺は聞いても覚えませんが…。

自分が祝われなくて、相手を祝ったことですか？ それはいいですよ。だって俺は自分から相手の誕生日を聞くってことはしませんから。だから祝いません。でも、自分の誕生日は自分から言いますがね。えー、どんな風に言うかですか？ 「昨日、誕生日だったんだけどな」みたいな感じで言います。深刻そうっていうよりは、冗談に近いノリで。「だから祝ってよ」みたいな感じっす。

どの範囲の人に言うかですか？ 仲のよさの程度でいいですか。仲のいいと思う人に言いますよ。でも俺は、誕生日は得したいなって思うんで、それほど仲が良くない人にも言っちゃおうと思います。何か奢ってもらえるかもしれないし。で、もしそこまで親しくない人が俺を祝ってくれたら、もちろん俺も祝ってあげますよ。奢りとかじゃなくても、なんかリアクションしてくれた人には、俺からもなんかしてあげますね。人の誕生日を覚えられないけど、そのときはがんばると思いますよ。

もし祝われてない人から「祝ってくれ」って言われたら、どうするかな…。でも、何だかんだで祝っちゃおうと思いますよ。「俺は祝われてないんだけどなあ」とか言いながら。

さっきも言いましたが、自分はあんまり誕生日って意識してないほうっすね。物覚えよくないから、意識しようがないかなって。あ、でもメアドには入れてますよ、誕生日。仲良くなる時とか、初めて会う人とかとはメアドを交換するじゃないですか。だからメアドを見て、俺の誕生日に気付いてくれるかなって思って。今使ってるメアドは、携帯持ってから一度も変えてませんよ。実際ですか？ あー、滅多に気付かれません。現に小南さんも、今気付きましたよね…。まあいいですけど。

自分と同じ誕生日の有名人ですか？ 一人だけ知ってますよ。キャメロン・ディアスです！ 俺はキャメロン・ディアスが好きなんで、普通に嬉

わたしたちにとって誕生日とは何か

しいですよ。何の日かとかは知りませんが。何で知ったかですか？ 雑誌とかではなかったです。あ、スマスマのビストロスマップ見てて、偶然知ったんですよ。ゲストで来てたと思います。

俺にとって誕生日は、自分が主役になれる日です。でも他人に祝ってもらわないと、ほとんど意味のない日。あと、次の誕生日まで自分の人生を考える日だと思います。

俺にとって友達の誕生日は、自分がそう思うからこそ、祝ってあげないと相手がかawaiiそうな日だと思います。だから覚えておくべき、大事な日。これからは覚えられるように努力します。

(2) ちさちゃん（保育士。21歳、女性。高校3年来の付き合い）

仲のいい子は、大体13、14人くらい。内訳は、高校とか幼なじみが6、7人で、専門学校の友達が6人だね。この人たちの誕生日はみんな知ってる。手帳の最初の方に、年間スケジュールのページがあるでしょ？ そこに書いてるの。大体30人分くらいの誕生日が書いてあるかな。みんな、あだ名だけど。私は保育園で働いてるから、生徒とか先生の誕生日も書いてて、それで多いんだけど。友達の分は最初に言ったぐらいの人数だと思う。誕生日を知ってる男女の割合…、たぶん男：女=4：6くらいかな？ 仲いい子の誕生日は男女関係なく知りたいし、知ってるから。そんなに人数に違わないと思う。

いつ頃から誕生日を意識してるかというとなんて難しいね。ヒマな時に手帳見て「○○はそろそろ誕生日だ」とか、わりとマメにチェックしてるね。具体的に「何日前から」とかは、ないかな。

どんなふうに誕生日を知るかっていうと、私は自分から聞くことが多い。さすがに初対面の人には聞いたりしないけど。ふだんからよく会う子とか、ある程度まで仲良くなったら、その子との会話の中で、自然に聞く感じ。「ここまで仲良くなったから、誕生日を聞こう！」っていうふうで、意識的な感じではない。「ある程度」がどのくらいかは説明できないけれど…。本当に自然に会話に

出てくるからね。聞かれたほうも普通に答えてくれるし。

誕生日ってさ、聞いたら何らかのリアクションをしなきゃいけないものだと思うの、私は。メールしたり、プレゼントを渡したり。私が誕生日を聞かれたら「祝ってくれるのかな」って期待するし、それで何もないと、肩すかしっぽい感じがするし。だから、お祝いしたいって思った子には聞くのかな。高校のときのクラスメイトでも、挨拶とかしない子のは知らなかったなあ。

誕生日はいつでも聞けるよ。仲がよくて、でも誕生日を忘れちゃったときには、普通に「誕生日いつだったっけ？」って。気兼ねとかしない。だって、分からないままにしておく方が失礼だし。人づてに聞くよりも、本人に直接聞く。その方が確実でしょ？ 誕生日は間違えちゃだめだもん。間違えたことあるけど、何回か。でも基本、祝いたい気持ちはあるから、その気持ちにケチつけないように、誕生日は正確に知りたいって思う。

私はわりとメールを送るけど、送られてくるメールはそれよりも少ない。仲のいい子からはもちろん来るけど、普通な子からは来ないこともあるね。自分がメールを送って、その子から誕生日にメールが来ないと、次から送るの考えちゃうね。ふだんからあまりメールとか連絡してなくて会わないでいると、その子の誕生日とか忘れちゃうし。「くれなかったから送らない」というのもあるけど、それよりは自然にその子の誕生日を忘れる、っていうか意識しなくなる。

メールを送るタイミング？ 当日に送るよ、当たり前だけど。私はドコモだから、デコメの凝ったやつを送る。送るタイミングは、仕事があるときは、仕事が終わってから。メール自体は通勤途中で作るんだけど、凝りすぎて30分じゃ作り終わらんないから。あとね、メールを送り忘れることもあるよ。仲がすごくいい子には、1週間過ぎてても送るけど。そこまで仲がよくないのかもって思う子には、2、3日過ぎてると送ろうか、悩んじゃう。あ、1週間っていうのは、今までの送り忘れ最高記録が1週間だったからだよ。最初に「1

週間も過ぎちゃったけど…」って素直に入れる感じ。

友達の誕生日って、前日ぐらいまでは覚えてるのに、当日になると忘れることもあるでしょ？
そういうときに、遅れてメールして、仲のいい子だと、返事で「本当にね (^□^)」みたいな、冗談のノリで返事がくる。普通な子だと「ありがとう」って一般的な返事がくるね、遅れてても。

私はメアドには、03だけ入れてる、3月生まれだから。そのせいか、みんな3月生まれだっていうことは覚えててくれるけど、日にちは覚えてくれないんだよね…。だったら、日にちもメアドに入れたらいいんだろうけど、私はそれイヤなの。だってあからさまじゃない、メアドに日にちまで入れると。メアドに入れてしまうと、祝ってもらおうと思ってるのではないかって思われちゃうかもだし。誕生日は祝われたいけれど、そこまで切実に、どうしても祝って欲しいって思ってるわけでもないから。だから生まれた月しか入れてないの。

メールは男女両方から来るよ。地元の友達とか。専門学校の友達は結構メールとか送ってくるほうだし、自分の誕生日にメールが送られてこないと凹むみたい。この前ね、「誕生日なのにメールが一通もこなかった～ () △ ()」って、ジャイアンが愚痴メールを送ってきたの。[携帯メールを見せつつ] コレね。かわいそうだけど面白かった。私はもちろんジャイアンの誕生日は知ってたよ。ちゃんとメール送ったもん。でもね、日にちを勘違いしてて、1週間前に送っちゃったの。で、「もう前に送ったから、今日はいいかな」って思って送らなかつたら、そういうことがあって。

私が友達の誕生日を手帳に書いたり、メールを送ったりしてるのは、やっぱり自分が欲しいからだね。メールとか、お祝いとか。基本的に自分がして欲しいから相手にもしてあげたり、祝ってあげたりするんだと思う。誕生日を祝われていやな人っていないと思うし、私自身、相手を喜ばせてあげたいから。だからメールを送ったり、デコメも凝るんだと思う。

メールだけで済ますのは、親しくてもあることだね。住んでるところが遠くて、もとから会いづらい子はもちろん、今は仕事のスケジュールの関係でなかなか会えない子とか。不可抗力でやむを得ないときとか？ 会ってみんなでお祝いってというのは、専門学校の仲良し6人組でしか、したことないな。その子たち、みんな今年から働いてるけど、ちゃんと集まって誕生日パーティーとかしてるんだよ。専門のときと同じやり方で。

パーティーのしかた？ サプライズだよ。専門の仲良し6人組とは専門1年生のときからやってくるの。大体が居酒屋にケーキを持って行ってお祝いする感じ。ケーキとプレゼント代はみんなで割り勘っていうか、お金を出しあって、みんなで買いに行くの。プレゼントで毎回必ず準備するのがメッセージカード。これはみんなで手作りするの。1年生のときは買ってきたカードにみんなで寄せ書きして、それをあげてたんだけど、2年生くらいのときに、自分たちでデザインしたカードをあげるようになったね。そのきっかけとか、詳しいことは覚えてないけど。でも買ったやつよりも喜んでくれて、あげる方としてはそれが嬉しくて。それから毎年、手づくりカードと、みんなで選んで買ったプレゼントが定番になってるかな。プレゼントの予算はね、大体一人千円ずつ出して買う感じ。誕生日パーティーはほとんど、誕生日当日にはやらないね。当日は家族で祝ったりするから。

その6人の中で誕生日を忘れること？ うん、あるね。一人、4月生まれの子がいるんだけど、その子は忘れられやすい。今までで2回、忘れられたことがあるね。専門1年生のときと、今年。1年のときは、みんな知り合ったばかりで、それほど仲良しじゃなかったから仕方ないけど。今年忘れられた理由は、忙しかったから。みんな今春から就職したから、新しい環境や仕事に慣れるのに精一杯で…。本人もすごく忙しくて遊ぶ時間とかなかったみたいだし。でも、やっぱり怒られちゃったけど。メールは送ったんだけど、パーティーはしてあげられなかったなあ。

わたしたちにとって誕生日とは何か

買うプレゼントは、事前に調べておくね。それから買う。アンダーウェアとかなら、旅行に行ったときにサイズを調べたり、欲しいもののジャンルをそれとなく聞いたり。いまハマってるものとか聞いたりするかな。覚えてる限りでは、健康マニアな子にはバランスボールとか、ゲルマニウム温浴の石を買ったり、安眠快眠グッズをあげたことがあるよ。お風呂好きな子には、バスオイルやお風呂用まくらとか。一度すごく派手なアンダーウェアをあげたこともあるね。使ってくれてるかは、わからないけど。さすがに、この6人組は3年間一緒に祝ってるから、完璧なサプライズ・パーティーは難しいよね。「わかってますよ」みたいな。でもそれでも、みんな楽しいし、嬉しいみたい。もちろん私も。それにカードやプレゼントは毎年、毎回違うから、貰う方としては貰う瞬間まで秘密なわけだし。そういう意味では“サプライズ”なのかもしれないね。

一月に2人、誕生日のこともあるよ。そのときはもちろん一緒にお祝いしちゃうよ。お祝いのメールやカード、プレゼントはそれぞれにちゃんと送るけど、パーティーは一緒にしちゃう。ふだんは祝われる子以外の5人で準備するんだけど、そのときの準備は4人で全部がんばる。買出しとかデザイン考えるのとか。大変だけどね。一緒に祝われることそのものには、不満とかないんじゃないかな。聞いたことはないよ、「別々に祝って！」とか。

今年の私の誕生日パーティーは、サプライズだったね。泣いちゃったし。私って自分の誕生日が過ぎたら忘れちゃうのね。それで今年は誕生日の一ヵ月後、4月にパーティーしてくれたんだけど、私はすっかり忘れてて。ふだんからよく飲みに行く6人だったから、その日もそうだと思ったの。そしたら、その時はパーティーで。カラオケで“思い出のアルバム”っていう曲の替え歌を歌ってくれて。泣いちゃった。その歌詞とかがやたら素敵でね。ことし貰った手作りの誕生日カードには、手のひらサイズのアルバムを貰ったの。専門1年のときから卒業までの間の行事の写真が入ってる

アルバムだった。そのアルバムの一番最後のページに“思い出のアルバム”の替え歌の歌詞が書かれてた。嬉しかったなあ…。あと、他には帽子と、多分「仕返し」のつもりなんだろうけど、派手なアンダーウェアを貰いました。まだ使ってないんだけど。まっ、それはそのうちに、っていうことで。

ずっとこういうお祝いが続くと思うかっていうと、ハッキリ言って微妙。時々話すんだ。「うちら、ずっとこのままでいられるかな」って。実を言うと、6人全員が仲良しなわけじゃないの。6人のうち、2人(AとB)は仲良くないみたいで。もちろん今までに、6人の中でケンカしたことはあるよ。それで分裂しそうになったし。今はそんなこともなくて、まとまってるし、仲いいんだけどね。でも、AとBはケンカをしているわけじゃなくて、ただ仲良くないだけみたい。ほかの人たちがいるから一緒に行動しているけれど、AとBの2人だけで遊ぶことはないだろう、みたいな。だから6人でパーティーするのはすごく楽しいんだけど、もしかしたら純粋に「祝いたい」っていう気持ち以外のものを持っている子もいるのかも、とか。そう、少し義理っぽく思ったりとかね。直接聞いたわけじゃなくて推測だから、何とも言えないんだけどね。取り越し苦労かもしれないし。

でもパーティーの準備はすごく楽しいね、やっぱり。誕生日のその子が喜んでくれてるからっていうのもあるけれど、パーティー当日までの途中が一番面白いかも。というか、パーティーの最中は祝われてる子が一番の主役だし、楽しめると思うんだけど、準備してるときは他の5人が楽しめる。どのケーキにするかとか、カードのデザインを考えたり、プレゼントを何にして、いつ買いに行くかとか…。私は一人ではプレゼントとか買えないし、いたくないの。みんなで考えるから、いろんなアイデアとか出て楽しい。他の子がいるから一生懸命になれるし。ほかの幼なじみの人とかとはそういうパーティーをしないから、余計にそう思うのかもしれないけどね。

えー、自分と同じ誕生日の有名人？ …ごめん、

知らない。有名人とかは生まれた年は見るけれど、生まれた月日は見ないんだ。わたし、男女どっちの有名人でも、「へえ、この人私と同年なんだー」とか、「この人意外と若かったんだ」とかって思うくらいだし。あとね、私は自分の好きな芸能人の誕生日とかも覚えられないんだ。知らないというか。何かで見たとしても忘れちゃう。何でだろうね？好きなんだけど…。自分と接点がないからかな？

有名人は知らないけど、自分の誕生日に起きたことなら知ってるよ。“地下鉄サリン事件”があった日なんだ。えー？ どう思うかって「よくもやってくれたな」って思ったよ。自分の誕生日にいやな事件とかあると、それは結構つらい。だって誕生日って一生変わらないものでしょ？ それに起こった事件もなかったことにできないし。だからすごいやって思う。

どんな人の誕生日を知っているか？ 難しいね…。自分の好きだなって思った人とか、興味がある人の誕生日は、とにかく知りたいって思うから、結構ズバツと聞いちゃうな。で、ちゃんとお祝いしてあげたい。

誕生日を祝うことを負担に感じること？ うん確かに、負担というか、本当に悩んじゃうんだよね。でも年に5回だけだし、喜んで欲しいって思うから、手は抜かない。忙しいけど、一日あれば準備できるものばかりだし。それに自分が頑張ったら、私のお祝いのときに、みんなは何してくれるかなとか、楽しみもあるしね。あと、みんな働いてるから余計に大事。そういう誕生日の集まりは。それがあから、みんなで時間を作って会おうって思えるし。集まるきっかけになるからね。できる限り、続けていきたいと思うな。

私にとっての、友達の誕生日？ とても大事なものだよ。いままでずっと祝ってきたから、ないことなんて考えられないかな。もちろん祝わなくてもいいかもしれないけど、祝ったほうが絶対楽しいよね。だって友達だから。

(3) えみちゃん (大学4年生。22歳, 女性。

大学の友人)

私が仲いいって思う子は20人くらいかな。もちろん、みんな女の子だよ。大体15人くらいかな、誕生日を知ってるのは。友達の内訳…。人数を振り分けたことはないけれど、カテゴリーとしては高校の友達、大学の友達、バイトの友達、だね。数の多さも今の順番かな。高校の友達が、たぶん一番知ってる数が多い。そうだねー、10人かな。この10人とはパーティーするから、間違いのないと思う。

パーティー？ この10人のは恒例になってるね。恒例になってるけれど、いつやるかとかは分からないからサプライズだと思うよ。今もやってるけれど、前と変わったことは、地元にいるときよりも、みんな仲良くなった。今ね、みんなこっちに出てきてるの。大学入ってからのパーティーは全部こっちでしてるんだけど、こっちに来てからもっと仲良くなったと思う。

パーティーをし始めたのは、高校2年生のときだったと思うよ。あとプレゼントをあげるようになったのも、ちょうどそのくらいだったと思う。きっかけ？ 確かグループの中の誰かが、「〇〇が誕生日だからお祝いしようよ」みたいなことを言って、始まったんだと思うけど。

どんな内容かと言うと、プレゼントはみんなでお金を出しあって買いに行ったね。何買うかとかは事前に調べていくよ、もちろん。祝われる子と一番仲のいい子が聞いたり、みんなで遊んだときに、それとなく話すとかするね。10人の中の仲良し度は、10人みんなが仲いいよ。10人のうち、誰が誰と遊んでも盛り上がるもん。特別、仲のいい子とかもちろんいるけど、みんな仲がいいと思う。

パーティーする場所はいろいろだね。誰かの家だったり、お店だったり。でもどこでお祝いしても、必ずケーキはあるよ！ やっぱりケーキはないとね。買ったたり作ったり、バイト先の余りものだったりする。私を祝ってくれたときは、ケーキと漫画を貰ったよ。その漫画は、私が前に「どんな話なの？」って聞いたのを覚えてて、それでく

わたしたちにとって誕生日とは何か

れたらしいよ。続巻が出てるけど、まだ買ってない。今言ってみたいに、パーティーって言ってもそんな大げさなものじゃなくて、普通の飲み会にケーキとプレゼントが付いてるってだけの簡単なものなんだよ。いつものお泊りに、誕生日会っていう大義名分ができたっていう意識。自分が忘れても、他の9人の中の誰かは覚えてるって思うから、義務感とかはない。自分は誕生日を意識してないし、それほど大切にしていなから、祝おうって意識は薄いかもしれないな。

誕生日をどうやって知るか？ そうだねえ…。ほとんど私からは聞かないかな。さっき話した10人も、私が聞いたりしたわけじゃなくて、一人の子が話したからみんなも話した、みたいな感じだったと思う。いかにもって感じの、誕生日ネタを振ったことはないよ、覚えてる限りでは。私はあまり誕生日に興味がないの。だから自分から知りたいとは思わないなあ。いつの頃から興味がないか？ うーん。いつからだろう。子供の頃から、親から誕生日プレゼントを貰ったことがないんだよ。最初の方の誕生日で、親に「犬とか猫が欲しい」って言ってたら、相手にされなくなっちゃって。実現できなさそうなことばかり言ってたんだよね。本気で欲しかったんだけどね。あ、だから祝われなくなったのかも。そんな環境だから、友達に「プレゼント何が欲しい？」って聞かれても困るんだよね。即答できない。自分が何が欲しいのか分からないし、相手の予算とかもあるでしょ。今ではさすがに「ペットが欲しい」なんて言わないけど。

私から誕生日の話をすることはないけれど、もしあるとしたら“どうしようもないとき”かな。塾のバイトで、話すことがなくなっちゃったときに言っちゃう。でもそのとき聞いても、すぐ忘れちゃうけどね。だってあくまでその場しのぎだから。それにさ、誕生日そのものの話って、それ以上膨らまないでしょ？「何月何日、誕生日なんだ」で終わるじゃん。それよりは、その先のことを聞くほうが、話が盛り上がると思うよ。「誕生日何が欲しいの？」とか。別にそれでプレゼント

をあげるわけじゃなくて、「何々のCDが欲しいんだ」って言われたら、「私もそのアーティスト好きなんだ!」とか言えるじゃん。「化粧品が欲しい」って言われたら、「いつもどこの化粧品使ってるの?」とか聞けるし。それでアルバムの話や他に好きなアーティストの話とか、化粧品の話とかができるわけ。まあ、たまに「別に欲しいものはないけど」とか言われることもあるけどね。それだとそこで会話は終わっちゃうけど。だから私が誕生日の話をするときは、誕生日を通した違う話題を探すためなんだよね。先を見越した感じ。そうすることで、相手の好みとか他のことも分かるしね。

仲のいい子の誕生日は、知ってるものっていうプレッシャーがあるかも。仲が良すぎて聞けないっていうこともある。だから、私はmixiのプロフィールで確認する。覚えられないし、相手にも聞けないから。そこで調べて、でも相手には「私はあなたの誕生日を覚えてましたよ」みたいなフリをする。私としては、そこまでするのは十分仲のいい証拠だと思うけど。

メールアドレスに誕生日が入ってる子は分かりやすいよね。聞かなくてもいい。私は入れないけどね。だってメールアドレスに入ると「誕生日にメールください」って言ってる感じがするから。祝って欲しいけれど、そういうのなんかイヤなんだよね。

友達の誕生日は手帳に書き込んでるよ。たまに見たりしてる。でも、忘れちゃうこともあるけど。そういう時は、やっぱりmixi。

誕生日をどう思うか？ そうだね…。やっぱり興味ないな。祝われたら嬉しいけど、自分から催促とかはしない。「誕生日なんだ、それで?」って私なら思っちゃう。祝うけど、誕生日って広がらないよね。「へえ、おめでどう」で終わり、みたいな。大学だと、なおさらかな。私の周りの人は、あんまり誕生日に関心がないみたいで。

大学の仲がいい子からメールとか来ないと悲しいけど、だからって仲が良くなることもないよ。もう大人だし、私はあんまり誕生日に執着な

いから。あ、でも誕生日にはバイトは絶対入れない。だって、誰かから誘われるかもしれないし。誘われないこともあるけどね。でも誕生日には働かないよ。

誕生日のメールを送るタイミングは、相手によって違うかな。高校のときからの、本当に仲のいい子には0時ちょうどに送るよ。誕生日になった瞬間に送信、っていう感じ。仲のよさがそうでもない子には、0時には送らない。なんか引かれそう。0時ちょうどに送ると、「この人ヒマなんだな」って思われそうだし。だから「あえて0時に送ったんだよ」って言える子には、0時に送るよ。時々ねらいすぎて送り忘れることもあるけれど。

あまり仲良くない人からのお祝いのメールかあ。嬉しいかな、やっぱり。本当に面識のないくらいの人からだと、少しびっくりするけど。私は貰ったことはないけど、あげたことはあるよ。サークルのあまり親しくない先輩が「あした誕生日なの」って騒いでたから、メールをあげたらメチャメチャ喜ばれた。

私が誕生日を知りたい人、知ってて欲しい人は、自分が好きな人。なんか特別な気がするから。だって誕生日を聞くと、私に関心があるってことでしょ？ だから知ってて欲しいし、逆に私も知りたいって思う。好きな人の誕生日は絶対に忘れないし。それに誕生日を聞かれると、期待する。さっき言った好意もそうだし、プレゼントとかメールとか。「くれるのかな」ってドキドキするもん。私があんまり仲良くない人に誕生日の話をしていないのは、そう思うから。聞かれたほうは、多少なりとも期待しちゃうでしょ。私は「誕生日は祝うもの」って思うから、聞いたらかしなきゃ、って思っちゃう。それがイヤ。高校の友達の誕生日は祝うのが当然っていう意識があるから、別にイヤに思ったり、プレッシャーを感じたりはしないけど。お祝いすることが一つの儀式、みたいな。大学の友達だと少し重いかな。メールで済ませちゃう。

メールで済ませるケースとしては、他には普通に会うのが難しいからっていうのがあるかな。会

えないけどお祝いしたいからメールで、みたいな。

誰からでも多分そうだけど、プレゼントを貰ったり、お祝いしてもらったら私も相手にしてあげるよ。基本、受け身だから、「されたら、する」って感じ。逆に、自分がお祝いしたのに相手から何もされなかったことはないかな。パーティーは必ずしてもらってるし。メールだと本当にたまにあるけれど、私が送った子からは大体もらってる。もしもらえなくても、自分からは言わないし。さっきも言ったけど、祝われてもそれで終わりだから。なにか変わるわけでもないし、だから言わないよ、わざわざ。

他の普通な友達が誕生日のお祝いをしていても、特に何とも思わない。自分も仲間に入れて欲しいとかは思わないな。もちろん入れてもらったら楽しいだろうけど、その分大変そうだから。傍観みたいな。でも別に祝うこと自体がイヤなんじゃないよ。現にやってるし。ただ、高校の友達とのお祝いは、やって当然で、誕生日はお祝い！ っていう子が多かったから、私もその波に乗ってる感じ。大学だと、友達同士がグループ化してないから、パーティーとか、しにくいっていうものもあるけどね。誕生日の話もしないし。私は大学の友達よりも、高校の友達と遊ぶほうが多いと思う。

誕生日のお祝いの波に乗るのが辛かったこととかはないよ。だって大して労力使わないし、友達の喜んでる顔を見られるのは、私も嬉しいし。高校の友達は、本当に親友っていう感じ。大学のほうの友達も、仲はいいけど、わざわざ誕生日を祝うほどでもないって思う。みんな他に祝ってくれる人がいるだろうから、別にいいかって思うよ。そもそもあんまり誕生日を話題にしないから、知らない子が多いし。

誕生日を知ってる子と知らない子の違い…。やっぱり付き合いの長さかな。昔からの友達とか、高校の友達とか。あと、私が誕生日を知ってる子は、私の誕生日を知っている子だと思う。どちらかだけが知ってるっていうことはないかな。誕生日を知ってる子は、私が2人だけでも遊べる人だね。誕生日を知らない子は、その逆っていう感じ。

わたしたちにとって誕生日とは何か

誕生日を知ってる子は、一緒に遊んだりして付き合いが長いから、誕生日以外の好みとか価値観とかも知ってる。

私の誕生日と同じ有名人？ 全然知らないよ。だって直接会えるわけじゃないからね。知っててもどうしようもないって思うから。何の日かっていうのはあるよ。虫歯の日。イヤな語呂あわせだけど、誕生日を聞かれたときに「虫歯の日だよ」っていうと、みんな覚えてくれるっぼいし、覚えやすくはあると思う。

自分の誕生日をどう思うかですか。プレゼントとかパーティーとかで祝われたら、100%のうち80%は申し訳ないって思うよ。悪いなあ、とか。「私なんかのために、ケーキを用意してくれてありがとう、すみません」みたいな。私は自分に自信がなくて。

友達の誕生日をどう思うかは、まず単純に「おめでとう」ってことかな。あとは、今年も一緒にお祝いできてよかったとか、喜んでくれて嬉しいなとか思う。

(4) はるかちゃん(大学4年生。22歳, 女性。大学の友人)

私が、仲がいいって思う子は、大体6人くらいかな。内訳？ えーっと、小中の友達が2人と、高校の友達が1人。大学の友達が2人に、バイトが1人。全部で6人です。もちろん、バイトや大学では他にも友達はあるよ。でも、この2人が他の人たちよりも仲良しなの。私にとって仲が良いって思う人たちは、私からメールを送る子だね。私は必要なとき以外には、あんまりというか、全然メールを送らない人だから。この6人には自分からメールを送れるからね、大事な用事とかなくてさ。

誕生日を知ってる友達か…。この6人の誕生日は知っているけど、小中、2人のは忘れちゃった。思い出せない。私は聞いたりしないよ。忘れたらそれまで。わざわざ相手に聞かないな。理由？ だって、祝うことはないと思うから。祝う気がないのかもしれないけど。だから聞きません。もち

ろん手帳とかに書いたりしてないよ。覚える気がないんだろうねー。

誕生日の話題は自分からは振らないね、絶対に。相手に聞かれたら社交辞令的に聞くけれど。でも、忘れちゃう。覚えない。本当に、ただ聞くだけっていう感じ。でもね、昔好きだった人の誕生日はまだ覚えてるよ。小学校のときに好きだったんだけどね、覚えてる。卒業文集とか作るでしょ、その文集に載ってて、それをまだ覚えてるんだよ。お祝いとかはしないけれど。…実を言うと、その小学校のときに好きだった人と20歳のときに付き合ったのね。でもね、半年くらい付き合い合ってたの。もちろん付き合い合ってるときに祝ったことはあるよ。でも別れた今ではもう祝えないけどね…。祝えないけど、忘れないし、忘れられないの。

どんな風に祝うか？ っていうより、私はパーティーとかしないんだ。だからメールとかプレゼントをあげるだけ。プレゼントの選び方としては、「何が欲しい？」って相手に聞くのがほとんど。ときどき自分で考えることもあるけどね。高校のときから仲のいい子には、もう7回くらいあげてるけれど、プレゼントの内容に困ったことはないかな。本人に直接聞くから、ハズレもそんなにないしね。

パーティーをしない理由？ 何だろう？ まあパーティーしたことないのは確かだし、これからもずっとするつもりないけれど…。私は人がいっぱいいるの、好きじゃないの。面倒くさい。人がたくさんいると、みんなと話さなきゃって思っちゃうの。だから、私が集団で過ごせるのは4人が限界だね。自分からパーティーを催すことはしないし、もしも他の人にパーティーに誘われても。そのパーティーで祝われる主役の子が、すごく仲のいい子だったら参加するかもしれないけど、そうでないなら絶対無理ですよ。

メールについてですか。誕生日のメールは、貰っても一年以内には消しちゃうなあ。なんでって…。別に貰ってすぐ消すわけじゃないよ。貰ってしばらくはちゃんと保護かけておくけれど、一年

経ちそうなときとかに、保護解除しちゃうの。で、受信メールがいっぱいになったら自動削除、っていう感じ。だって誕生日おめでとうメールって、大体が「〇〇歳のお誕生日おめでとう！」っていう感じで来るでしょ？ その年齢も一年経つと変わるじゃない。だからもうその年齢が終わるから、もはや過去のこととして消してしまうの。私は、過去は振り返らないからね。

知ってると思うけど、私のメアドに誕生日は入ってないよ。だって誕生日って個人情報だし。それに自分的に、そんなに誕生日は重要じゃないから。メアドに入れちゃうと、なんかね…。好きじゃないから入れてないよ。私は覚えやすい誕生日のほうがよかったな、とも思うしね。

私にとって誕生日はあんまり大事じゃなくて、どっちかというと1月1日とかの方が特別な。なんかさ、リフレッシュしたって感じるじゃん。新年だし。それにね、私の誕生日と同じ有名人って、変な人が多いんだよ。確か、所ジョージと長島一茂だったかな。これは別に調べたりしたわけじゃなくて、たまたま見た雑誌に載ってただけなんだけど。別に嬉しくないけど。「いて座」って変人が多いのに、私の誕生日って特に変な人が多いんだよ。だから、少しいやだね。同じ日生まれの有名人はそんな感じかな。何の日かとかは知りません。

誕生日が特別でないのは、昔からかな。親から誕生日プレゼントを貰ったことがないの。祝われてないわけではないけれど、とにかくプレゼントを貰ったことがないから、そんなものだって思ってるよ、誕生日に対しては。ケーキ食べたり、好きなこととかはさせてもらえたけど。はじめからそうだったから、特に大きな不満とかはなかったかも。

私が誕生日を知りたいと思う子？ それはやっぱり、自分が仲良くしたいって思う子だよ。最初にも言ったけど、自分から連絡を取りたいって思う子の誕生日は知りたいって思う。それに仲がいい子って、大体コンスタントに連絡を取っているものだから、そういう子の誕生日は知っていない

と、って思う。あと、自分が誕生日を知っているその相手には、私の誕生日も知っていて欲しい。コレも最初に言ったかもしれないけど。

でも、やっぱり基本的には、自分から誕生日を聞かないかな。忘れちゃうし、祝おうっていう気があんまりないから。わざわざ聞かなくても、知ることはできるし。どういう風にか、というと、仲良くなって一年経つ子の誕生日は、その一年の間に必ずあるはずだから、絶対分かるね。話していて、「昨日誕生日だったんだ」とかたいていあるから、それで覚える。「へえ」とか言いながら。しっかり記憶しておいて、次の誕生日にはお祝いする、っていう感じ。

あと、私があまり人に誕生日を聞かないのは、誕生日そのものには興味があまりないから。誕生日を知るよりは、もっとほかのことを知りたいって思うし。だから、誕生日を祝いたいって思わないのかも。もしも誕生日を知りたいって思っても、それほど切実には思わないし、執着しないと思うな。

誕生日にお祝いメールを送って、相手から私の誕生日に送られなかったこと？ 多分ないよ。私自身、メールを送る人数少ないし。送られなかったことよりも、私が送り忘れちゃったことならあるよ。バイトの子になんだけど。そのバイトの子は、手帳にみんなの誕生日とかを結構書いている子でね。その子に「誕生日いつですか？」って聞かれたことがあって。誕生日を教えたら、しっかり誕生日当日にメールが送られてきた。嬉しかったんだけど、私はその子の誕生日を覚えていなくてね。送れなかったんだよねー。誕生日を聞かれたときに、聞き返したとは思うけど、覚えてないんだよね。その子の誕生日知りたいって、それほど思ってたっばいな。

あっ、バイトつながりで思い出した。バイトの先輩は、男の人なんだけど、メアドに誕生日が入ってたね。私はそうとは気付かなかったけど、他のバイト仲間の人が騒いでて、その先輩を祝ってるのを見て知った。その人には、それ以来、誕生日にメールを送ったりするけれど、私は特に何と

わたしたちにとって誕生日とは何か

も思ってないし、先輩のほうも別に普通みたい。だって毎年毎年、返事が「あ～、どうも」みたいな感じだし。あんまり感激とかされても、困るは困るけどね。

お祝いのメールを送るタイミング？ あ、12時ちょうどに送るのは、高校生のときにやってたよ。でも、今は送っていない。なんでって…。別に12時でも何時でも一緒だし、12時ちょうどに送っても、そんなに意味はないかなって思ってね。それにやっぱり、気持ち悪いから。恋人じゃないんだから、とか思うな。だから、誕生日になったら即！には送らないよ。

私にとっての友人の誕生日は、ちょっとだけウキウキする日だね。何に対してかという、プレゼントを選ぶことに対するウキウキ。いろいろ考えながら選ぶのは楽しいからね。

私自身の誕生日は、特になんでもないと思う。プレゼントが貰えて嬉しいっていう気持ちはあるけれど、後は特にないよ、感慨みたいなのは。嬉しくないこととしては、当たり前だけど誕生日が来ると年をとるから、へこむよ…。誕生日全体に対しては、やっぱり私にとっては、それほど特別な日ではないのだと思う。

(5) ゆみこちゃん (大学4年生。22歳、女性。1年前バイト先で知り合う)

私の仲のいい子は、数えたことがないけれど、そんなに多くないと思う。誕生日を知っているのは6人だね。もちろんその仲のいい子の中で。その人たちとの付き合いは、中学のときの仲良しが3人。あと部活が2人と、大学の同級生が1人。中学時代の友達とは、今でもすごく仲が良くて、一緒に旅行したり、遊んだりしているよ。うちらは全然ケンカしたことがないの。すごいでしょ。今も昔も一度もないって、自信もって断言できるよ。

中学時代の出会い？ どうだったかな？ 確か、最初から4人(本人を含む)だったわけじゃないんだよね。中学在学中は2人グループだった気がする。うん、それで中学卒業間近に、どんなきっ

かけだったかは忘れちゃったけど、4人の今の仲良しグループになったんだと思うな。本当になんでだっけ？ 覚えてないな…。不思議だよー。

4人の中でも、Aちゃんとはよく遊ぶよ。あ、もちろんAちゃんっていうのは仮名ね。本名はちゃんと違うからね。で、他の2人、今はBちゃん、Cちゃんって呼ぶね。この2人とは、特別遊んだりしない。仲はいいけど、2人きりで遊ぶことはしないなあ。私が2人だけで遊ぶときは、いつもAちゃんだな。中学時代に私と仲が良かったのは、Bちゃんなんだけど。Bちゃんとは、中一からの仲良しなんだ。そのときAちゃんは、Cちゃんと仲良しだったんだ。AちゃんとCちゃんは今でもよく遊ぶみたいだよ。私と遊ぶときもそうなんだけどね。大体2人で遊んだときに「4人全員で会いたいね」って話が出て、「それじゃあ、他の2人に何日都合がいいか聞いてみようか」という流れで4人そろろ感じ。Aちゃんは親しみやすい子で、いい子なんだよね。だから誰とでも仲良くなれる人。気を遣うけど、自分の考えも持っているっていうか。高校卒業して、専門入って、今ももう働いてる。一人暮らしもしてるんだよ。

話していて本当に不思議だなーって思ってる、いま。私たち4人って、中学以来、直接的な接触が少なかったんだよね。高校は4人とも全員バラバラだし。住んでるところが近いとか、幼なじみとかでもない。本当に、中学が一緒って言うだけだった。クラスもみんな一緒だったわけじゃないし…。今でもう、丸9年付き合っているけれど、本当になんでここまで長く付き合えてるんだろうね。私たちが中学生とか、高校入学当時って、今みたいにケータイなかったでしょ。ポケベルとか、ピッチとか。うわー、すごい懐かしいね！ ポケベルって！ それに私たちの中で、ピッチ持っている子は一人くらいだったし。今みたいにすぐ、連絡つくわけじゃなかったのに、こんなに仲が違って、ちょっと感動しちゃう。

あっ、思い出した。家電にかけてたんだ。家の電話にかけたら、たいてい繋がったからね。それと、Aちゃんとは高校生になってから、街で偶然

会って。「わー、すごい久しぶり！」って盛り上がって、また頻りに連絡取りあったんだよ。嬉しかったな。

こんなに仲良しな私たちで、誕生日を祝わないことはないですよ！ちゃんと祝うよ。みんなで遊んで、プレゼントあげて。このプレゼントは、別にみんなで買ったりはしないよ。それぞれがあげたいものを、バラバラに買ってきて、4人で遊ぶときに持ち寄って渡す。みんな忙しくて、その誕生日の月に会えなくても、ちゃんと次に会うときには持って行くよ、忘れずに。本当にマメだよねー。でもやっぱり、中学生のときは、そんなにあげられなかったけど。なにかしら限りが多かったから。主にお小遣いとか。もしかしたら何かあげたことがあるかもしれないけれど、覚えていません。パーティーは特にしないよ。やりたくないわけじゃないけど、何となく。パーティーっていう名目は、あまり使ったことがないです。遊ぶときって大体ご飯食べて飲んで盛り上がるでしょ。だからそれはパーティーって言えるかも知れないけど、パーティーらしい演出とか、そういう意識はなかったかも。

私はパーティーしてもらったことあるけど。2年前、その3人に、しかもサプライズで。普通に遊ぶつもりでいたんだけど、入ったお店で店員さんがケーキ持ってきて。ビックリしちゃった。私の誕生日に遊んだわけじゃなかったから、本当に突然だった。でもすごく嬉しかったな。こんな風に祝ってもらえるなんてって、感激しちゃった。もちろんプレゼントもしっかり貰ったよ。パペット人形とか、入浴剤とか。あとはアクセサリとかだった。この年でパペット貰うなんて思わなかったけど。これをくれたのはAちゃんだった。多分あえてオモシロ系にしたんだと思う。そうしても大丈夫な感じだから。逆に私も、Aちゃんにそうしたことあるし。

祝うきっかけ？ …何かな？ 私はただでさえ忘れっぽいから、そんなに前のことなんて、正確には思い出せないけど。そもそも誕生日を知ったのが、どうやってなのかも分からないし。中学で

仲良くなって、それから誕生日の話になったんだよ。ね、確か。帰り道での話とかで。どういう流れかは、本当に思い出せない。ごめんね。高校の友達の、誕生日を知った経緯は何となく覚えてるんだけどな。

高校のときの仲良しさんたちは、5人グループだったよ、私を入れて。そのときもプレゼントを買って、あげていたかな。このグループが、また不思議な成り立ちで、5人のうち、クラスが違ったのが私一人だけだったのね。だから、少し損した気分だった覚えがある。移動教室とか体育とか、同じ授業のときもあったんだけど。で、高校のそのグループの誕生日を知ったのは、まさにそういうとき。体育の体操中にとか、教室移動しているときに。「誕生日を知りたい！！」っていう考えはなかったなあ。話の一つとして、普通に話題になったと思う。

あっ、そうだ、思い出したよ！ 中学のときは、サイン帳見て覚えたんだ！ ほら、私たちが中学生になったときって、サイン帳が流行ったでしょ？ だからそれに書いてもらって、それで覚えてたんだ。はー、思い出せてよかった。

私が誕生日を知るの、自分から聞いてっていうのが多いよ。私は、誰の誕生日でも聞いちゃうんだ。特に意味はないかな。「いつ生まれなのかな？」って、思わず聞いてしまうっていう感じ。私は人のこととか結構知りたがるんだよね。自分のことは話さないけど。自分の誕生日は言わないよ。聞かれたら答えるけれど、自分から率先しては言わない、秘密主義者だから。そのせいで、高校の時はちょっといろいろあったけれど。グループから一時離れたり。このグループは5人の方だよ。中学のグループとは、その頃も仲良しだったから。高校のグループの人とは、卒業したら全然連絡取らないな。唯一Dちゃんとは、今でもメールするけど。他の人とはまったく音沙汰なしです。Dちゃんは今、看護師やってるよ。看護の学校に2年間行って、就職したんだって。予定が合わないから会えないけど、メールはしてる。

話が逸れちゃったね。ごめんなさい。自分から

わたしたちにとって誕生日とは何か

言わないけれど、でも相手によっては、自分から言うこともあるよ。Aちゃんには私から言うこともある。「明日、誕生日なんだよー」っていう感じで。Aちゃんからも言われるし。お互いに言い合えるから、Aちゃんには、そんな感じで冗談ばく言っちゃう。でも、あからさまなプレゼントの催促とかはしたことないよ。「おめでとう」だけは忘れないでね、っていう意味の自己申告です。

聞いた後は、仲のいい子にはメールを送る、誕生日に。手帳に書いたりとかね。でも、中学の仲良しグループのは手帳に書いてないけど。だって書かなくても、覚えてるから、書く必要がないというか。ケータイのスケジュールや、メモリーには入ってるけどね、念のために。仲が良くないというか、ただ聞いただけの子の誕生日は忘れちゃう。流れで聞いただけだから、覚えようとか意識しないからね。

私が誕生日を知りたいって思う人は、初めて友達になった子。それと、仲良くなれそうな子とか。話したり、雰囲気とかで「この子と仲良くなれそう」って思った人の誕生日は覚えるよ。さっきも言ったけど、そうならない子の誕生日は覚えなし、メモったりもしない。でも、仲良くなれなさそうな子と誕生日の話をすることもあるよ。会話が續かないとき、「なにか話さなきゃ、なにか話さなきゃ」って焦って、「誕生日いつ?」とか「何型?」とか。苦肉の策でそうしたら、その場はそれなりに盛り上がるでしょ。その場しのぎ的な感じかな。そんなに深く考えてなかったけどね。

私が誕生日を知っている人は、最初の方でも言ったと思うけど、付き合いが長いよね。実際9年来の付き合いだし。知らない人は仲良くないし、連絡を取り合ったことも少ないか、ほとんど取らない人たち。付き合いが長くて、継続して今も仲がいい子の誕生日は絶対忘れない。Aちゃんはもう働いてるけど、月イチくらいで遊ぶし。Cちゃんはすごい行動派。考えるよりまず動くっていうタイプで、だから高校3年間はオーストラリアに留学しちゃったし。短大に一年在学したけど、納得いく学校じゃなかったみたいで、また大学受験

をして、私たちよりも一年遅れて国立大学に見事合格したし。有言実行な子で、かっこいいよね。Bちゃんは私と同じで、あまり喋らない子なんだ。でも昔からの仲良しなの。同じような性格だから、空気が合って居心地がいいんだよ。喋らなくても、一緒にいるのが苦じゃない子。Bちゃんとは、無理やり会話する必要がないというか。

メールはデコメを送ります。高校のときは顔文字を駆使して、がんばってた。最近は会社が変わっても、デコメを見ることができるようになったでしょ。だから、デコメで凝ったのを送ってる。メールを送るタイミングは、夜中の12時を狙って送ってるよ、一番乗りを目指して。でも、いつも二番目なんだけど。いつもいつも12時に送れるわけでもないから、朝起きてすぐ送ったり、ごく稀に忘れてたりしちゃうけど。私から12時に送るし、Aちゃん、Bちゃん、Cちゃんからも、高校のときはちょうどにメールが来た。最近はどうでもないんだけど。みんな忙しいみたいで。必ず誕生日中には送られてくるから、気にはしてないです。ちゃんとデコメが送られてくるよ。女の子らしくてかわいいメールなんだ。お誕生日のメールは、貰ったら保護かけて、消えないようにしてる。大事にとっとくよ。嬉しいからね、もらえると。そういえば、高校の友達とは、誕生日にメールを送ったりはしなかった。高校に行けば会えたから、わざわざメールしなかったね。

それほど仲良くない人からの、お祝いメールは嬉しいよ。特にマイナスな気持ちはないです。「知っててくれたんだ」とか「ありがとう」って、素で喜んじゃう。それをきっかけに、メールのやり取りとかしちゃうかもしれないな。実際はそんなことないけど。私は秘密主義だし、メアドとかにも誕生日って入れないから、私の誕生日を知るの簡単じゃないし。

私がメアドに誕生日を入れない理由は、メアドに誕生日って、個性があまりない気がして。今までのメアドは面白いとか、おいしそうな単語ばかり使ってたし。何回目のメアドかは忘れたけれど、eating-chocolatecake っていう単語入れてた。進行

形なのがポイントね。食いしん坊だからさ、私は。今のメアドは la.la.la... なんだけど、これは歌いたい気分だったから。本当は、ドットを3つくらい並べたかったんだけど。私自身は誕生日をアドレスに入れないけれど、入れるのもありだとは思うよ。特徴的な誕生日だったり、自分にとってすごく意味のある日なら、私も入れたかも。

私の誕生日と同じ有名人は知らない。調べたことも少しあるけど、いなかった。一人くらいいたけど、名前は忘れちゃった。男の人だったよ。今は「たったひとつの恋」に出てるみたい。偶然見た雑誌で知ったんだけど、チラッとしか見なかったから、名前は分からないけど、でもその有名人は好きだよ、単純だからね。自分と同じ日生まれだと、それだけで親近感わくから。

誕生日のお祝いは、サプライズとか、何かしらしてあげたい。今もやらないんじゃないかって、やれないって感じだから。日にちさえ合えば、すごく力を入れて祝ってあげたいよ。自分もされた

ら、嬉しいもん。最低メールはしてあげるけど、たまには派手にお祝いしたいって思うこともある。仲がいい子には、すごく喜んでもらいたいし。驚いた顔を見るのがすごく好きだから、がんばって凝って、祝いたいな。もちろん、一回そうしたら、相手に期待されてプレッシャーに感じることもあるかもしれないけど、でも、それでもやりたくてウズウズしてるから、そういうことも楽しみ。プレゼントを考えたりも、友達ならではのものだと思しね。

私にとって誕生日は、20歳を過ぎたくらいからちょっと憂鬱なもの。「また年とっちゃった」って。なんかハタチって響きを過ぎてから、年とるのが嫌になってきちゃった。イヤになったからって、避けられるものでもないけれど。

私にとっての友達の誕生日は、それほど神経質になるものでもないけれど、友達として、しっかり祝ってあげたいものです。自分が喜ばせてあげたいって思うもの。